

新たな制服導入のための検討委員会（第2回） 議事録

日 時 令和5年7月7日 18時30分～19時45分

会 場 壬生中学校 会議室

参加者 校長、壬生小PTA代表、藤井小PTA代表、壬生東小PTA代表、
稲葉小PTA代表、羽生田小PTA代表 庶務（教頭、教務主任）

庶務 検討委員会（第2回）を開催する。本日は、「パートナーとして相応しい制服メーカー1社を選考するために、選考委員として必要な心構えを学び、公正公平で適正な選考ができるようにする」ことを目的とする。特に、

ア メーカー選考プレゼンテーションの選考委員としての心構え

イ メーカー選考をする際の留意点

ウ デザインを決定するまでの留意点

について、各委員の理解を深め、委員相互の共通理解を図ることをねらいとする。

校長 （学校長あいさつ）

ご多用の中、お集まりくださりありがとうございます。本日の検討委員会（第2回）は、研修会と位置付けて開催します。研修講師は、県内の公立中学校長として新たな制服の導入を経験された、元校長先生です。制服メーカー1社を選考する際の留意点等について学び、理解を深める機会とします。どうぞ宜しくお願いします。

研修題目 「新たな制服導入に向けて～メーカー選考を行う上での留意点等について～」

研修講師 栃木県内公立中学校 元校長（制服導入経験のある有識者）

【研修概要】

1 制服の歴史

1870年代 詰襟制服

1900年代 セーラー服

1940年代 国民服

1980年代 ブレザー制服の導入校増加

1990年代 DCブランド制服の導入校増加

現 在 機能性・多様性を重視した制服への変更校増加

2 新たな制服導入の意義

(1) 安心安全性を高め、生活の質の向上を図れる。

(2) 伝統や校風を守りつつ、時代に即した新たな学校づくりの機運が高まる。

3 メーカー選考の留意点

- (1) 企業理念の把握（生徒のより良い成長と関連性があるか。）
- (2) 工場環境の把握（よい製品はよい工場環境から生まれる。）
- (3) 生徒を大切に考えてくれる担当者の存在

4 プレゼンテーションを受ける際の視点

- (1) 縫製品質
- (2) 生地品質（仕入れの安定性）
- (3) デザイン決定～製作～採寸納品までの適切な対応
- (4) 品質管理体制

5 質疑応答

Q1 メーカー1社を選んだご経験の中で心がけたことは？

A1 「生徒をどれだけ大切に考えているか」というメーカー側の熱意を大切にした。
「老舗のメーカーだから」「新進のメーカーだから」という差異はなかった。

Q2 新たな制服を導入してよかったことは？

重量感のある制服から軽量で着心地のよい制服となり、生活の質が高まった。
学校がさらに明るく元気になる契機となった。
伝統や校風を守りつつ、良い学校にしていこうとする機運が高まった。

庶務 ご講話ありがとうございました。

次回の検討委員会（第3回）は、8月4日（金）13時30分より開催する。メーカー6社のプレゼンテーションを行う。各メーカーの企画書や参考資料は、7月下旬に郵送するので、事前にお目通しいただきたい。

散会 19時45分